

「かながわ未来共創プラットフォーム」 募集シート

■募集内容等

課題	効果的・効率的な野生鳥獣対策の実施
課題の概要	里山集落では野生鳥獣の出没により農作物被害や人的被害が発生しているが、里山集落の過疎化、住民の高齢化といった要因に加えて、狩猟の担い手が不足するなど野生鳥獣対策が進まなくなる恐れがある。
背景・課題の詳細	過疎化、高齢化が進行している里山集落では地域の主たる生業である農業の衰退などを加速させ、またそのことが野生鳥獣の出没による農作物被害を引き起こし、さらなる農業の衰退に繋がるなど、負のスパイラルが恒常的に生じている。 また、こうした状況は里山より下流にある住宅地等での鳥獣被害（生活・人的被害）の増加をもたらしており、安全・安心な県民生活の更なる脅威となる恐れがある。
課題によって、誰が、どう困っているか（または今後困ることが想定されるか）	里山集落では、シカやイノシシなど野生鳥獣の出没による農作物被害や人的被害が増加傾向にある。 また、近年ではツキノワグマやイノシシの出没が特に増加しているほか、野生イノシシによる豚熱など、感染症も深刻化しており、今後郊外への被害の拡大が懸念される。
課題に対する県の現状の取組	・市町村が行うモデル事業のスタートアップ支援といった集落環境整備 ・猟友会等と連携した野生鳥獣の捕獲
県が希望する提案内容	ICT やドローン、ロボット等を活用した効果的・効率的な鳥獣対策用資機材の開発や、大学・NPOなどといった多様な主体による里山集落と連携した実習フィールドとしての活用
提案の例	※以下は一例ですので、上記課題解決に向けて自由な発想でご提案ください。 ① 鳥獣対策用資機材の開発や既存技術の開発 ICTやドローン、ロボット等を活用した ・野生鳥獣の監視・捕獲・追い払い ・ヤブ払い等の環境整備 ② 里山集落と連携した体験・実習フィールドとしての活用 わなの設置や地域の環境整備等、NPO や大学等による体験実習や研究活動等の実習フィールドとしての活用
実施予定時期	提案内容により別途調整します。
県から提供できるメリット	・実証等に向けた関係機関（県内市町村・猟友会等）との調整を県が支援します。 また、商品、サービスのモニターからのフィードバック等に協力します。 ・実証等の実施に至った場合には、連携・協力機関としてPRします。
その他留意点	

<提案方法>

次のページでご案内する申込フォームへ、必要事項を記入の上、送信してください。

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=33311

<問合せ先>

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室 未来創生グループ 「かながわ未来共創プラットフォーム」担当
Tel：045-285-0710

問合せフォーム

<https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007->

[u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=13319&accessFrom=](https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=13319&accessFrom=)